

# グリーントピックス

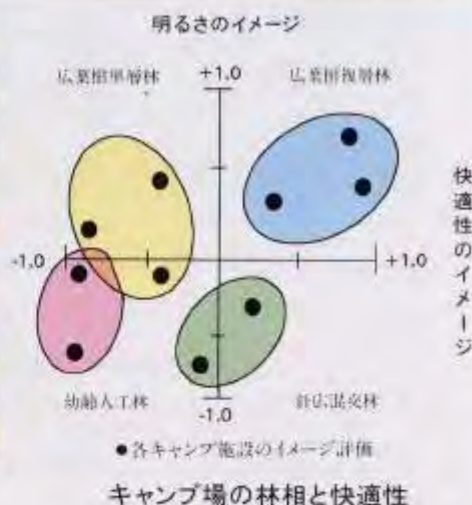
北海道立林業試験場

No.11

## 林間キャンプ場みる森林のアメニティ



ヤチダモ樹林地内につくられた道民の森月形地区学習キャンプ場



キャンパーが周辺の森林に対し、どのようなイメージをもち、どのように森林を評価しているかを調べました。

広葉樹の複層林は、「快適」で「明るい」イメージが強くと評価が高いのに対し、針葉樹幼齢人工林では両方のイメージが弱くと評価も低いなど、林相によってイメージや評価が異なることがわかりました。また、キャンプサイトを含めた樹林地面積が広くて太い樹木が多いほど「快適」イメージは強くなり、広葉樹の比率が高くて、林内がすいているほど「明るい」イメージが強くなる傾向もみられました。

これらのことから、キャンパーにとっては、居住性の高い設備だけでなく、「快適」で「明るい」イメージの森林が不可欠であるといえます。



ハルニレ・カツラ高齢木中心の道民の森一帯川地区オートキャンプ場